

【草花の部屋】

ムシャリンドウ (シソ科ムシャリンドウ属 *Dracocephalum argunense*)

和名：ムシャリンドウ (武佐竜胆) **別名**：セイラン(青蘭)

英名：Blue dragonhead

シソ目 多年生草本 **原産地**：日本、朝鮮半島、中国

花言葉：凜とした **花の色**：紫



↑→ 写真-1、2 ムシャリンドウ
撮影日：2015年07月14日
撮影場所：シーニゲ・プラッテ
高山植物園(スイス)にて
撮影者：M さん

シーニゲ・プラッテ高山植物園内を散策中に見かけた花です。遠目に、リンドウかな?と思い、近寄って観るとシソ科の植物でした。名札も付いていたので、帰国後、調べて解りました。

リンドウと名が付きますが、リンドウ科のリンドウとは異なります。滋賀県武佐(近江八幡市)で発見されたので武佐竜胆(りんどう)と名付けられたようですが、滋賀県には生育していないようです。近江八幡市には「むしゃりんどう保存会」があり、2015年に近江八幡市の夏の花に指定されています。

茎は直立し、下向きの細毛があります。葉は対生し、広線形で、多くは葉腋(ようえき)に数枚の小型の葉をつけた短い枝があります。花は6~7月ころ、茎の頂端に短い花穂を作って開き、青紫色・2唇形で、萼は筒状で15脈があり、やや2唇形になります。雄蕊は4本あって中2本は長く、葯には毛があります。

<ちょっと一言>

シーニゲ・プラッテ高山植物園(アルペンガーデン)は、標高約1950mから2000mの山岳地帯に約600種類もの高山植物が、その植物が本来、生息している環境(岩山、ガレ場、草原など)をできる限り再現した植栽にしているそうです。散策路も整備され、ちょっとしたトレイルも兼ねたような高山植物園。数々の花が名札付きで見られて便利。全部を観察するには、二時間ほど・・・。

植物園の総面積は8,323 m²。2008年に兵庫県神戸市の六甲高山植物園と姉妹提携。約1時間弱の散策でしたが、エーデルワイスをはじめ、普段、なかなか目にすることのできない植物を堪能しましたが・・・。種類と量に、少々、食傷気味に・・・。ハイキング中に見かけた時のような感動は・・・。

1893年に開通した伝統の登山鉄道で、高低差1383mのルートをやつくりと上った所がありました。車窓からアルプスの山々や、眼下にインターラーケン、トゥーン湖、ブリエンツ湖の眺望も楽しめました。